

北海道から青森県へ

氏名 川上 まどか

北海道美深高等養護学校→青森県立八戸第二養護学校

(期間：平成26年4月1日～平成28年3月31日)

1 派遣先の学力向上等の取組

○教科指導

私が担任した高等部の学級では、国語、数学、職業、保健体育は、教育課程において年間70時間、家庭科は年間35時間設定されていた。学級担任が指導内容を考え、指導を行っていた。

毎年、教務部を中心にして教科書用図書の選定が行われている。国語や数学、職業では、一般図書（附則9条）を使用し授業を行うことがあった。

派遣期間中、校内では指導内容表の作成が行われていた。教科ごとに免許所持者を中心にグループに分かれ、特別支援学校学習指導要領解説をもとに、他学校の指導内容表も参考にしながら作成した。高等部では、平成29年度に設置される学科での指導も見据えての内容とし、生徒の実態を考慮しながら学習内容を観点ごとに4類型分を考えた。グループでの話し合いを年間5回程度行い、教育課程委員会で他教科と擦り合わせをしながら作成をした。

○生徒会選挙

選挙年齢が18歳以上へ引き下げられることを視野に入れて生徒会選挙が行われた。八戸市選挙管理委員会から実際の投票箱と記載台を借りて行った。選挙ポスターを作成掲示したり、演説を行ったりした。

事前に職業の授業では、選挙の仕組みや投票用紙の書き方などの学習を行った。

○各教科などを合わせた指導

作業学習では、卒業後を見据えて長い時間働けるように、午前と午後を通して

の授業が週2回行われている。作業内容は、清掃や農業、調理、手工芸、リサイクルなどがあつた。作業は3学年合同で行われ、3年生が1, 2年生に教えたり、後輩が先輩の様子を見て学んだりすることができるよう工夫されている。

○青森県特別支援学校技能検定・発表会プレ大会

青森県内の特別支援学校が参加して、青森県で初めて平成28年1月22日に技能検定・発表会プレ大会が行われた。職業技能部門として、清掃（テーブルふき、自在ぼうき、ダスタークロス、モップ）や接客サービス、PC入力（入力速度、文書作成）、コミュニケーション部門としてプレゼンテーション発表、ポスター発表、パフォーマンス発表が行われた。

作業学習では、大会に向けて代表者を選考し、清掃や接客、プレゼンテーションに取り組んでいた。

2 北海道に戻って実践したいこと

○新設校での取り組み

派遣先であつた青森県立八戸第二養護学校は平成29年4月に高等部が分離し、新しく高等支援学校ができる。現在勤務している北海道札幌あいの里高等支援学校は4月に開校した学校であるため、派遣先とは環境が似ていることが多い。今後も青森県立八戸第二高等養護学校と交流を続け、両新設校の発展に尽くしたい。

現在指導している作業学習での接客や清掃、職業などの教科は、派遣先で行っている年間指導計画や授業内容を参考にさせていただいている。派遣先で培った経験を活かし、生徒が意欲をもって主体的に取り組める授業を考え実践していきたい。